

教育研究活動報告書

ふりがな 氏名	あさの まさこ 浅野 雅子	所属・職名	リハビリテーション学科 作業療法学専攻 講師
専門領域	作業療法学 音楽療法	学位称号	芸術工学博士 2011 (平成 23)
最終学歴	2011 (平成 23) 九州大学大学院芸術工学府 芸術工学専攻 (博士後期課程) 修了		
資格免許	作業療法士免許 平成 8 年 (第 17627 号) 認定音楽療法士 平成 15 年 (第 584 号)		
教育上の能力に関する事項			
担当科目	精神障害作業治療学 ほか		
教育方法の 実践例 教材の開発 教育改善活動等	<p>● 教育方法の実践例 <u>教科の要点のレジュメとコマシラバスの作成・配布</u> 自らが担当する講義においては、その科目の要点をまとめたレジュメとコマシラバスを作成・配布し講義を行っている。学生がレジュメを利用することでより講義の理解を進めることができるよう工夫した。また、コマシラバスにはその日の授業の進行内容が記載してあるほか、使用する教科書のページ番号や到達目標・参考文献なども盛り込み、授業の際のみならず、復習するときにも利用出来るよう心がけた。</p> <p>● 学生の習熟過程に応じた国家試験対策の実施 <u>3 年次 4 月より国家試験対策の年間スケジュールを作成し実施した。3 年次は基礎知識の習得時期とし、過去 5 年分の国家試験問題を学生毎に振り分け、それぞれが解説集の作成を行った。4 年次 8 月からはグループを構成し、3 年次に作成した解説集を用いてグループ毎に講義形式で学生が教えあう方法で知識の習得に繋げた。並行して定期的な面接を実施し心理的なサポートも行った。2 つの業者模試では全国平均を上回る成績が得られた。</u></p>		
職務上の実績に関する事項			
<ul style="list-style-type: none"> ● トーンチャイムサークル凛音顧問 (平成 19 年～現在に至る) 近隣施設への慰問活動や音楽会での演奏活動の指導及び引率を行っている。 ● 吉野ヶ里町地域包括支援センター 介護予防教室講師 (平成 22 年 7～10 月、平成 23 年 9～11 月) 「おんがく健康教室」の講師として地域在住の元気高齢者に対する音楽活動の提供を行った。 			
研究業績等に関する事項			
《 平成 19 年度～平成 23 年度 》			
著書・学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行所・発表雑誌等 又は発表学会等の名称	発行又は 発表の年月
● 原著 1. 慢性期統合失調症患者に対する歌唱活動と合奏活動の効果	共著	精神科治療学 22(6) p715-721	平成 19 年 6 月
2. 開放病棟と閉鎖病棟における慢性期統合失調症患者に対する集団歌唱活動の効果	共著	西九州リハビリテーション研究 1 p15-19	平成 20 年 3 月
3. 施設高齢者を対象とした園芸療法と音楽療法の比較	共著	精神医学 51(1) p41-48	平成 21 年 1 月
4. 音楽活動を援助する学生の心理面と高齢者イメージの変化	共著	西九州リハビリテーション研究 2 p21-26	平成 21 年 3 月
5. 音楽心理学の動向	共著	芸術工学研究 九州大学大学院芸術工学研究院 紀要 2010 Vol.12 P83-95	平成 22 年 3 月

6. 慢性期統合失調患者に対する音楽療法介入の研究 (博士論文)	単著	九州大学大学院芸術工学府	平成 23 年 1 月
● その他			
1. 早期退院を視野においた精神科救急病棟における リハビリテーション - 肥前精神医療センターの取 り組み -	共著	作業療法ジャーナル 41(12) p1095-1102	平成 19 年 12 月
2. 統合失調症者に対する根拠に基づいた音楽療法 (講演論文)	単著	基礎心理学研究 30 (1) p121-124	平成 23 年 9 月
● 学会発表			
1. 施設高齢者に対する園芸療法と音楽療法の比較	共同	人間・植物関係学会 2007 年大会要旨集 (神奈川)	平成 19 年 6 月
2. 音楽活動と園芸活動が施設高齢者の精神機能面に あたえる効果	共同	第 7 回 日本音楽療法学 術大会 (札幌)	平成 19 年 9 月
3. Horticultural therapy and music therapy for the elderly living in a nursing home	共同	IPA2007 Osaka Silver Congress The Official Journal of the International Psychogeriatric Association (Osaka)	平成 19 年 10 月
4. 施設高齢者を対象とした音楽活動の効果	共同	平成 20 年度佐賀県作業療 法学会 (佐賀)	平成 20 年 3 月
5. 統合失調症に対する歌唱活動の効果ー開放病棟と 閉鎖病棟の比較からー	共同	第 42 回日本作業療法学会 (長崎)	平成 20 年 6 月
6. 園芸が高齢者にもたらす、心理面および免疫機能 の効果	共同	第 42 回日本作業療法学会 (長崎)	平成 20 年 6 月
7. 施設高齢者を対象とした非薬物療法の介入別効果 ー園芸療法と音楽療法の比較ー	共同	第 23 回日本老年精神医学 会 (神戸)	平成 20 年 6 月
8. The Psychological and Immunological Effects of Horticultural Therapy on Elderly People Living in a Nursing Home in Hokkaido, Northern Japan	共同	10 th International Congress of Behavioral Medicine (Tokyo)	平成 20 年 8 月
9. 高齢者サービス事業におけるトーンチャイムを用 いた能動的音楽活動の効果	共同	第 2 回日本音楽医療研究 会 (東京)	平成 20 年 12 月
10. The effects of music activities using tone chimes on the elderly living at home and students who support the elderly	共同	The 19 th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics (Paris)	平成 21 年 7 月
11. The psychological, cognitive and physiological effects of horticultural therapy on elderly people living in a nursing home in Japan	共同	The 19 th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics (Paris)	平成 21 年 7 月

12. Effects of Group Music Therapy for Chronic Schizophrenia In-patients in Japan.	共同	2010 American Music Therapy Association Conference (Cleveland, Ohio)	平成 22 年 11 月
13. A study of music therapy for chronic schizophrenia patients in Japan	共同	The 4 th Triennial Conference of Asia-Pacific Society for the Cognitive Sciences of Music <i>APSCOM4</i> (Beijing, China)	平成 23 年 7 月
14. 慢性期統合失調症患者に対する集団音楽療法の効果	共同	第 11 回日本音楽療法学会学術大会 (富山)	平成 23 年 9 月
研究助成等	<ol style="list-style-type: none"> 平成 20 年度 永原学園教育研究基金「地域高齢者とリハビリテーション学部の学生による能動的音楽プログラムとしての介護予防事業の試み」(研究代表者 浅野雅子) 研究代表者として研究計画立案から活動の実施までを行った。 平成 20 年度 九州大学 VBL 若手研究者研究資金補助慢性期統合失調症患者に対する音楽活動の効果と個人的音楽背景との関連」(研究代表者 浅野雅子) で研究代表者として研究計画立案、活動を実施した。 		
学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等			
<ul style="list-style-type: none"> ● 所属学会 日本作業療法士協会 平成 8 年度～ 日本音楽療法学会 平成 13 年度～ 日本精神障害者リハビリテーション学会 平成 18 年度～ 日本音楽医療研究会 平成 20 年度～ 日本芸術療法学会 平成 23 年度～ 			